

総会・講演会 平成 26 年 5 月 24 日(土)

場所：あいホール 講師：菅沼 敏之 氏

第7回総会が開かれ、今年度の予算、活動方針などが承認されました。続いて、昨年に引き続き菅沼先生の「算数」についての講演会が行われました。今回は、『小数』の考え方についてお話を頂きました。



助成金をいただきました

(Ⅰ) 公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金より30万円
この助成金で「浜松の日本語教育の現状を探る」を開催しました。

企画担当:大倉 川島 澤根 寺澤 永山 信田

(Ⅱ) 浜松国際交流協会(HICE)より15万円
この助成金は、まつこの「子どもフィエスタ」に使われます。

企画担当:大岡 信田

(Ⅰ) 浜松の日本語教育の現状を探る — 新しい支援体制の可能性を求めて 2014 —

助成:公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金

平成 26 年度より、文部科学省は日本語指導が必要な児童生徒に対し「特別の教育課程」を実施することになりました。そこでその経緯と概要を知り、さらに DLA の実施法を学ぶ講座を 4 回シリーズで開催しました。会員以外も含めて 50 名の参加がありました。

	日時・場所	講師	内容
第 1 回	6/14 (土) 10 時～12 時 あいホール	大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 近田由紀子氏	「特別の教育課程」の経緯と概要
第 2 回	7/5 (土) 13 時～16 時 地域情報センター	大阪大学大学院 言語文化研究科 日本学術振興会特別研究員 櫻井千穂氏	DLA の概要と「話す」「読む」の実践例から、実施法と評価の仕方を学ぶ
第 3 回	8/9 (土) 10 時～12 時 あいホール	県立浜松大平台高校 講師 当 NPO 賛助会員 絹村和美氏	高校に通う外国人生徒の現状と日本語指導の在り方
第 4 回	9/6 (土) 10 時～12 時 あいホール	DLA 実践教員 浜松市教育委員会	DLA を実施した学校の実践例と浜松市の日本語指導に対するビジョン

～受講生感想～

- 「特別の教育課程」について知識不足を痛感しました。当講座でその概要について多少なり理解できるようになりました。頂いた資料を時間をかけて理解に努め、今後の実践に役立てたいと思います。(第1回 K.H)
- 実際の指導の様子を動画で見ることができ、とてもわかりやすかったと思います。細かいところまで指導方法が決められていて、指導者にとってバラつきが少なくなるのが良い点だと思います。何より、子どもが楽しく学習できるのがすばらしいです。(第2回 S.T)
- 定時制高校についての知識を知り、たくさんの事例や現場の声を聞いて勉強になりました。小学校の支援からは想像できない高校生活、学習について考える貴重な機会になりました。(第3回 N.A)
- 中学校における DLA 実践例をお聞きして、具体的にどうやるか少しイメージできた気がします。市川先生のお話から浜松市全体の外国人児童生徒の状況と支援の様子をつかむことができました。個々の子どもに対して先生方に指導計画を作っていただき、能力が発揮できるように学校全体が認識して支援体制ができることを希望しています。(第4回 A.H)

